

【静岡県清水町】

校務DX計画

1 校務DXチェックリスト自己点検結果における課題等について

G I G A スクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果」（文部科学省令和5年11月実施）を数値化した結果では、学校向けの点数が363.2点であった。

全国平均並みであるが、項目別の結果を踏まえ、教育委員会・学校が連携し改善を推進していく。

2 校務DXを推進するための課題解決策

(1) クラウドツール等の活用

校務システム、Google for Education のアプリ等を活用し教員・児童生徒・保護者間の連絡のデジタル化を一層進めます。

(2) 研修等のICT化

会議、研修、授業のペーパーレス化を図るとともに、対面・オンライン形式のハイブリット化を進めます。

(3) FAX・押印の見直し

FAXの利用や押印など、デジタル化や省略可等を進めているが、全ての学校で高い割合で残存している状況であるため、関係団体・事業所等と慣例の見直し協議を図るよう進めます。

3 次世代校務DX環境整備に向けての検討

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「G I G Aスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、検討を進める。